

<先週の説教から>

『詩編⑩ — そんなにいらだつな！』

武田真治 牧師

詩編 37:1~22 使徒言行録 20:29~32

詩編37編を読みますと、今までの詩編とは言葉遣いが違うなあと思われると思います。多くの詩編は「～してください」とか「～でありますように」等の“祈り”の言葉ですが、この詩編は「～するな」とか「～せよ」で、これは“教え”の言葉です。むしろ『箴言』に多いのです。それもそのはずでこの詩編の著者は25節に「若いときにも老いた今も、わたしは見ていない」とありますように“若い時から信仰者として生き、今は年老いた信仰者”なのです、その人が今までの人生と信仰生活を振り返って記しているのがこの詩編なのです。当時の会堂の礼拝で語られ、残されたのでしょう。

面白いのはその“教え”の冒頭が「悪事を謀る者のことであらう。不正を行う者をうらやむな。」なのです。これが生涯、信仰を持って生きて来た上でのアドバイスかと思ってしまうのですが、むしろ、様々な人生経験を経た上で“他人と比べていら立ったり、妬む”ことがずっと(=老いた今も)付きまどってくる根源的な“誘惑”であると語っているのです。案外、気付きにくい点ですし、認めにくい点でもありますが言われてみれば、私たちも思い当たります。しかも「悪事や不正を行う者」を“羨ましく”思うのは、彼らがこの世的には成功している見えるからです。悪いことをしてもお金持ちになったり、地位を手に入れて裕福に暮らした方がよいのではと迷ったり、信仰を持ってまじめに生きることを無駄に思うってしまうことが“辛い時”にはありがちです。

しかし、この人はそんな“いら立ちや妬み”から解放される方法もこの後に教えてくれています。それは①「彼らは草のように瞬間に枯れる。青草のようにすぐにしおれる」から、今の状態だけを見て判断してはいけないということと、②「あなたの道を主にまかせよ。信頼せよ、主は計らい、あなたの正しさを光のように、あなたのための裁きを真昼の光のように輝かせてくださる。」からと。これはこの世の評価

や他人の判断だけを考えるのではなく、神様がちゃんと“あなたの正しさ”に“光を当ててくださる=評価し報いてくださる”ことに信頼を置いて生きて行けという教えです。その時、悪人や他人を必要以上に“羨む”ことはなくなると！

それが次の「無垢な人の生涯を主は知っていてくださる。彼らはとこしえに嗣業を持つであろう。」という言葉にも通じます。この“嗣業”とは受け継いだ土地のことですが、ここでは特に神様が、私たちひとり一人にふさわしい“居場所”を与えてくださる=備えて下さるという“約束”の言葉です。「とこしえに」と言われていることは“天のみ国で”とも言い得ますが、生きている“今、この地上で”も与えてくださる(=光を当ててくださる)という約束でもあるのです。この言葉に力を得て、主を見上げながら生きていきたい！

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 10月4日(水) 20:00
II. 10月5日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題: 神学校日を覚えて
担当者: (水) 保坂昭一 (木) 岡野晴光
祈りに覚える人: 鈴木ん 鈴木さん

【教勢報告】

主日礼拝 男23 女56 計79
祈祷会 I. 男6 女2 計8 II. 男2 女8 計10
日曜学校 幼稚科4 小中科13 計17
ひつじ雲の会(9月26日(火)) 男0 女3 計3

【次週主日礼拝】

10月8日(日)
聖書: ミカ書 3:5~12
エフェソの信徒への手紙 4:11~15
説教: 「ミカ⑥ — 民を迷わす者は誰？」
武田真治 牧師

讃美歌: 208(1)、32、97(1と4)、413(1~3)、497(1~3)、92(1)

【次週当番表】

司式: 齋藤長老 奏楽: 羽倉 礼拝: 金刺長老
献金: 中澤 長田 受付: 鈴木 橋本
会堂準備: 飯島 岡本 金刺 中村
森本博子

看板: 岩佐 週報: 金刺 お花: 茨木

【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会
礼拝後: ・お茶の会 ・牧師と語る会 ・聖歌隊練習
・壮年/婦人/ダビデ 各会

週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

2023年 10月 1日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>